

Weekly Face

今週の表紙

日下エンジニアリング株式会社

佐々木 禎氏

地域資源を生かした製品

日下エンジニアリング㈱(米子市日下)は2010年の設立。松江市の来待石と発光ダイオード(LED)照明を組み合わせた「アートストーンあかり」や鳥取県三朝町・三徳山の国宝建築物「投入堂」の木製模型と、異業種とのコラボレーションで商品を開発した。「元氣な若者や技術者と地域資源を生かした製品を世に送り出したい」と意欲を見せる。

電気器具部品から太陽光発電、燃料電池、LED照明の開発、製造、販売と幅広い事業を展開。廃瓦を利用した景観アプローチライト、販売促進用LEDディスプレイなどで定評がある。とりわけ、異業種連携では「良い素材を持っている企業や技術者でマッチングして製品化していけば、地域の活性化にもつながっていく」と言う。

一方で、自社で開発した技術を教材としてフィードバック。鳥取大の「ものづくり道場」での教材開発、科学教室の開催など次代を担う人材育成にも力を入れる。創業から1年余りだが、「モノづくりをしたい」という熱意を持ちながらも大企業を退職した技術者や1ターン希望者などを受け入れ「地元で学生に『入社したい』と思わせる企業に育てたい」と将来の構想を描く。



ささき・ただし

米子市出身。高卒後、鳥取県内のモーター製造会社に入社し、海外工場などで勤務。電機機械器具会社を経て、2010年4月、日下エンジニアリング㈱を設立した。この年から、鳥取大工学部ものづくり教育実践センター産官学連携コーディネーターも務め、次世代の技術者の育成に取り組む。米子市三本松、44歳。

E C O N O M I C

経済

C L I P B O A R D

クリップボード

山陰で行われる経済関連行事の日程を編集部までお寄せ下さい。

【中国経済産業局】

- 事業名 「地域新成長産業創出促進事業費補助金」の公募
 - 内容 地域の自立的・持続的な発展に寄与するソーシャルビジネス/コミュニティビジネス(「SB/CB」)等の起業支援。特に、東日本大震災の被災地の様々なニーズに対応する。
 - 補助内容 SB/CBの事業モデルやノウハウを他地域に移転しようとする事業や企業、大学、SB/CB事業者等と連携・協働し、実際の起業までを見据えた創業、人材の育成を行う事業モデル・ノウハウを他地域に移転しようとする事業。
 - 公募対象 法人格を有する民間事業者等
 - 締め切り 8月11日(木)
 - 問い合わせ 流通・サービス産業課(担当:多久田、山本)
- ☎082(224)5655

【とっとり産業フェスティバル2011実行委員会】

- 事業名 「とっとり産業フェスティバル2011」&「鳥取環境ビジネス交流会2011」
- 内容 鳥取県内企業の産学官連携による製品開発やビジネスマッチング及び販路開拓等を支援し、環境関連産業の振興を図る。
- 期 日 8月26日(金)、27日(土)
- 場 所 鳥取市天神町 鳥取産業体育館
- プログラム 26日=山陰発技術シーズ発表会inとっとり、継承の部、とっとり地産地消市場(特産品販売)、産学官連携交流会ほか
27日=研究発表、環境学術研究振興事業成果展示、一般来場者向けPRプレゼン(企業・研究者等)、とっとり地産地消ほか
- 問い合わせ 鳥取県商工労働部産業振興総室 ☎0857(426)7242か7555

0120-49-0500
山陰中央新報社
本社フリーダイヤル

定期購読のお問い合わせは



「TPPでは生きられない〜「デフレ」からの脱却策は」

京都大学准教授 中野 剛志氏

石見政経懇話会 第211回定例会

日時 8月24日(水) 正午~午後2時
会場 浜田フロンティアホテルプラザ(浜田市黒川町)

石西政経懇話会 第172回定例会

日時 8月25日(木) 正午~午後2時
会場 三好家(益田市幸町)

講師略歴 1996(平成8)年、東大卒。通産省(現経産省)入省。2000年、英エディンバラ大学大学院博士、05年同大学博士号取得。経産省産業構造課課長補佐、京大大学院助教などを経て現職。TPP問題では新聞・ネット上で反対論を展開。著書に「国力とは何かー経済ナショナリズムの理論と政策」「TPPと国論」成長なき時代の「国家」を構想する」など、神奈川朝日出身、40歳。

入会などの問い合わせは
山陰中央新報政経懇話会事務局 ☎0852(32)3477へ

◆お知らせ◆ 次号8月9日号は16日号と合併し、16日号は休刊します。